

秋の御仕度

大 廉 賣

フトン皮 一反 九十五錢より

フトン裏地 一反 八十五錢より

フトン赤綿一貫目 貳圓より

冬衣各種豊富

三井吳服店

電話三十八番

美術表具

玉成堂

平町 田町 元平陽女學校跡

外科

赤心堂病院

田町 電話四七五番

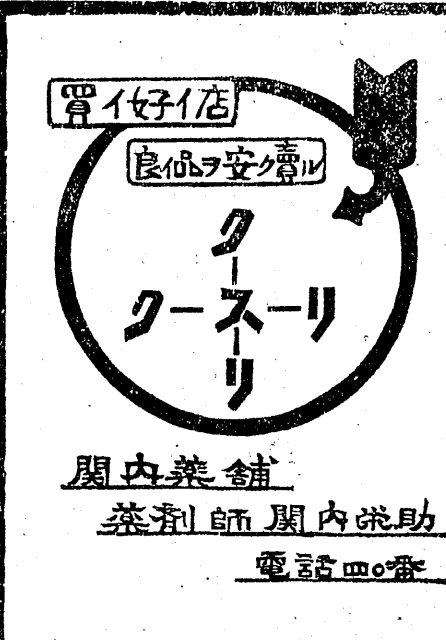
電話開通 三六七番

簡易 旅館 藤田屋

平町共濟病院前

磐城共濟院病

内産科	院長醫學博士 川喜四郎
小兒科	醫學博士 相澤信秀
婦人科	醫學博士 大瀧潤一
小兒科	醫學博士 内田俊造
外科	醫學博士 大瀧健吉
外科	醫學博士 島本寅雄
外科	醫學博士 河本寅雄
外科	醫學博士 長本寅雄
外科	醫學博士 本寅雄
外科	醫學博士 吉澤孝治
外科	醫學博士 大塚喜一郎
外科	醫學博士 丸山清子
外科	醫學博士 丸山清子
外科	醫學博士 丸山清子



見本品御覽下さし

(鐵筋コンクリート製) 井戸測、セメント管、美術品
各種(其他) 煙突、土管、下水管、下瓶
出張製造も致します

森下土管製造電元

平町 胡麻澤

外科


門 專

入院應需

上田外科醫院

平町 南町 電話一二九番

標商錄登



酒鯉味醬 類節噌油

屋問造製

社會名合崎山屋鹽

電話 { 部業營 } 番〇一
{ 場工 } 番七二

辛口 チキン ソース

粉 乾物煙草

海老屋商店 平田町電話二三五番

賣れ行きが事實を證明する 品質聲價共に拔群の!!

磐城セメント

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵 釜屋商店

釜屋商店 磐城平町五丁目 電話九番 一三九番

△良品廉賣、勝る商譽なし△
△確實敏捷は釜屋の生命なり△

吉田眼科醫院

平町 紺屋町

電話 四五七〇番

内産科 小兒科 花柳病科 (需應院入)

藤沼醫院

平町 紺屋町

電話 四五七〇番



刊夕日七月九

定 一部金貳錢 (廣一五號寸一休 日曜大祭)
一ヶ月廿錢 (告一五號寸一休 日曜大祭)
三ヶ月五圓 (告一五號寸一休 日曜大祭)
半年十圓 (告一五號寸一休 日曜大祭)
一年二十圓 (告一五號寸一休 日曜大祭)

福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常盤毎日新聞社
電話六三〇番

寄書

隣國漫談 (二) 星野輝吉

△所謂支那通のこと

友人に李若と云ふ留學生がある第三革命の發祥地たる湖南の生れたが温良な人で大の親日家だ、よく同席で支那事情の研究発表や講演を聞えてた處が何時だつたか次の様なことを云つたことがある「あの人は實に勇敢な支那通だ併しあゝした人の見解の爲めに往々にして兩國間に誤解を生むことがある、成る程あの人の話し振りで北支支那殊に北京を中心としては永く居住

して研究もしたらしいが南支那のことに就ては凡とゼロだ、だからあの人は北京通かも知れないが決して支那通じゃない僕なんかも遺憾乍ら郷里の支那に就て斯程大膽な結論を下す勇氣は持ち合はさない……」之を聞えた私はハタと膝打ちして面白い觀察だと思つた李若の見解には確かに一面の真理がある。支那は面積四百三十萬方哩人口四億の大國だ、民族からしてが東夷西戎南蠻北狄と云つた昔から漢滿蒙回藏の民族雜居し言語は今白話の統一に生みの苦を嘗めてるを以て見ても明かなる如く風俗習慣總てが南北その趣を異にしてその色彩の多種にしてその外はない、かゝる大國の一角に立つて噓ひ少しい位研究して見た處で富士山の頂上から關八州を眺める様な積りで支那を論ずると往々にして結論の錯誤を生ずることになる、然らば支那は遂に不可解の謎かと云ふに決してそうではないゴタゴタした矛盾だらけの流れの中に矢張確としたメーンカレントがある只李若の言は富士山式の短見を誅めた面白い觀察である、

(つづく)

賀澤會長の努力も 根こそぎにされん

野心家策謀する……
共済病院の大家騒動……

平町南裡に巍然として建つ
警城共済病院、此建物が南
裡の一角に一偉觀を呈する
に至る迄の賀澤共済會長の
努力は決して

容易ならぬもの
あつた、四面悉く楚歌の聲
を以つて満ちるゝ中に眞に
賀澤氏の血と汗との結晶に
依り今日あるを得たので
ある、然して患者の數も相
當に多く収入が益々増加す
るに拘らず經營は依然とし
て困難であり多大の借款の
利子に追はるゝの状態であ
る、是れが爲め

賀澤會長は斷然意
を決し縮少方針を執る事と
なつた結果月俸七百圓の助
川院長の俸給を始め、各醫
員の減俸其他の斧鉞に依つ
て徐ろに借財整理の案を立
て多數出資者に安堵を乞は
んとした、然るに一部野心
家の爲め其間種々なる障害
起り助川院長の辭表提出……
醫員の連袂辭職……等種々

示威的な問題が相
次ぎ本日も午前十一時から
理事會を開いて善後策を協
議する等患者を其儘に轉が
しての苦々しきお家騒動に
終始し賀澤氏の命懸けな事
業も今や根こそぎにされか
つて居る

家賃値上か 明年度から

國税に於て特別税の体系を
整備するに當り家賃税を創
設せずこれを地方の財源た
らしめ且之れを以て縣稅戶
數割の廢止によつて生ずべ
き減收補填の資にあつべく
設けられた家賃税に關し縣
では明十六年度豫算より開
始することとなつたが由來
家屋所有者から之れを徵收
する規定なので右の實施後
に於ては殆ど必然の結果と
して家賃税を各店子に轉嫁
し若干の家賃値上が行はる
べからうと

普選有權者 一一割増?

平町役場では目下各議員選
舉名簿の作成中にあるが昨
年執行した町議選舉資格者
は二千九百三十六名一昨年
名であつたが今回の普選に
依る時は大体に於てその二
割増と觀られてゐるが同名
簿は大体に於て本籍居住者
以外に寄留者によつて作成
するのであるが届出でを怠
つてゐる者が少くないので

労働同盟の糾合 漸次小炭礦に及ぶ

前後の情勢を達觀して
活動上の一新方策

過般常磐坑夫聯合會及日本
労働同盟支部が設けられ
て以來の警城炭礦附近労働
界は之に對應すべく設けら
れたる警炭會の爲にいさゝ
か初期の
策動を阻止される
にやの傾向あるに加へ右計
畫の主唱者格を以て目せら
れ曩に高坂坑より茨城縣高
萩坑に轉勤を命ぜられたる
出雲某の轉勤命令撤回に就
て支部幹部員よりの要求に
對し會社側の態度比較的強
硬なるものある爲め今後の
活動は勿論

未知の問題なりと 係員汗ダク

するも差當り同盟支部の内
状は暫らく雌伏の状態にあ
るを餘儀なくされつゝある
夏物の始末
月初めには白地や、薄物を
それ〴〵藏はなければなら
ず中頃過ぎからはセルや裕
羽織の支度も入るといふあ
る



家庭欄

体的に考究中である
檢事正來平 福島地
方裁判所檢事正倉龍治氏
は昨日午前一時四十二分平
驛着平郡線にて來平したと

看取されてゐる
十圓紙幣を
拾つて遣つた
然しお禮が貰へぬと
婆さんの願出

見込が無い
警城丸調査
本縣水産試驗場警城丸は縣
内の沖合を調査すべく去る
廿七日小名濱請戸區間百七
十哩までを調査したが沖合
沿岸水温大同小異廿一度乃
至二十一度水色普通なるも
魚群發見されず僅に鹽屋崎
東四十五哩附近にて小鯉群
を認めたるも餌つかず空し
く歸港した當分本縣沿海は
漁獲の見込が立たず金華山
釜石區間七八十哩内外の沖
合が好漁場らしいと

天氣
(八) 南東の風
曇り一時
晴れ

孟蘭盆に崇られて 四苦八苦の炭礦界

各方面で事業を縮少
常磐炭礦界は依然として不
振状態を持續し何れも鑛山
主や營業主が青息吐息で既
に休山同様の苦境にある鑛
山は尠くない、其原因は八
月は各鑛山地は新舊盆に相
當し坑夫從業者の

總勘定をなさねば
ならぬので事業主は是非共
生産品を處分して換金方法
を講ずるため四苦八苦のう
き目を見たのでそのみじめ
さは全く豫想外である之が
ため事業上には別段目新し

此七段は
の秋地落下
今年のは
のセルは
一体に色
目では落
付いたも
の、柄は稍派手向きな物が
多くなつた。色合を示すと
大体において茶かグリーン
の系統で、その茶も
複雑で、赤味のある
もの、鼠が、つたものなど
いろ〴〵であるが春物に薄
色物が多かつたのに比べて
すつと濛い趣きを見せてゐ
る。柄の調子は總てすつき
りとした物となつてゐる、
即ち、縞縞に縞を取り合は
したやうな物とか或は縞に
リング糸を

控へ目にあしらつ
た物などある、リング糸入
りは昨年あたりはやりかけ
たが、今年の秋物にはすつ
と澤山應用されてゐる。或
は縞に白を利かして派手に
見せた物など新しい傾向
の一つである。以上は女物
であるが

全體を通じて春物
よりも一割安普通十圓五六
十錢以上十五圓迄である。
次に追つてウールラインも
現れるが時代製品として今
年も宣傳的に賣出されるさ
うである。之は裕とされる
のだからセルよりも色目を
濃くされてゐる

歸郷するるので普通
好景氣の際は種々手段を以
て之が引止め策を講じ一方
募集員を派して人夫募集に
着手するのが例になつてゐ
るが本年の如きは却て鑛山
側が歸郷が希望して之を動
機に事業縮少をなした鑛山
が續々と云ふ

男物の 方では色合
はやはり茶色にしてこれに
もリング糸入りがはやりで
ある。女物と違つて男物の
リング糸は總て共色で以て
細めに澤山使はれてゐるか
ら一寸細の感じになつてゐ
る。又この春から綾織のセ
ルが出来初めたが、秋には
之が多數利用されてゐる。

募集
文藝其他投稿
を募集します
時より平町役場に總會を開
き大正十五年度豫算の更正
に關し協議すると